

## 2019年11月16日（土）のミサの聖歌奉仕について

聖歌奉仕希望者は以下の事前練習会に参加ください。当日の飛び入り参加はお断りします。

### 1 事前練習会

#### (1) 日時

2019年10月12日（土）及び10月26日（土） 両日とも11時～13時

#### (2) 聖歌指導

夏山 美加恵（なつやま みかえ）

##### （略歴）

エリザベト音楽大学宗教音楽学科にて故鈴木仁氏に声楽を師事。第6回山梨古楽コンクール第3位入賞。同年オランダに渡り、ブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルの訓練を受ける。その後デン・ハーグ王立音楽院古楽科古楽声楽コースに入学。音楽院卒業後、同校修士課程修了。オランダ国内外の多くの古楽アンサンブルと共演し、ユトレヒト、ブルージュ、ベルリン等の古楽祭にも多数参加。また12年間にわたってオランダのカトリック教会のカントルとして勤務した経験を持つ。現在もソロやアンサンブル歌手として中世からバロック時代の古楽作品、さらに現代音楽にいたるまで幅広いレパートリーで演奏活動を行う傍ら、古楽声楽アンサンブルの指導にも積極的に取り組んでいる。

#### (3) 練習場所

東急池上線・大井町線 旗の台駅 より徒歩7分

（プライベートの音楽ホールのため、参加者の方に限り、別途、住所をご案内します）

#### (4) 参加方法

連絡先（<http://uvj.jp/contact-us/>）までに、氏名、性別、所属教会、ラテン語聖歌の歌唱経験の有無をお書きご連絡下さい（参加締切は8月末までとします）

#### (5) 『Liber Usualis』（ソレム修道院編、1961年版）収録の譜面を使用します。

### 2 11月16日の聖歌奉仕の考え方（重要なため、ご一読ください）

当会主催の東京での歌ミサのため、聖歌奉仕者は自習の上、ミサ当日はミサ開始の2時間前から集まり、オルガニストと共に合唱のための声合わせを行い、質の高い聖歌奉仕を行ってこられました。7年以上にわたり、聖歌奉仕を支えてくださった関係者の方の並々ならぬご努力に感謝申し上げます。

11月16日のミサで質の高い聖歌奉仕を行うには、①死者ミサ用の聖歌が主日ミサや天使ミサよりなじみが薄く難易度が高いこと、②死者ミサのためにオルガンを使用しないこと、③合唱のための音合わせの時間を施設の都合により、ミサ当日は設けられないこと、という三つの課題があります。

これらの解決策として、①専門家の協力を仰ぎ、聖歌奉仕と指導をお願いすること、②事前練習の機会を設けること、③合唱の妨げになりかねない、飛び入り参加はお断りすることとしました。

③の参加条件については御意見あること承知しており、それらを否定するつもりはございません。しかし、神と人々への奉仕のため、十分な準備を行った人のみがカトリック教会の宝を丁寧に歌うことも意義あることですので、③の参加条件を今回設けるものです。ご協力いただきますようお願いいたします。